WEEKLY REPORT

Rotary

大宮ロータリークラブ週報

〈例会日〉毎週水曜日12:30〜13:30〈会場〉パレスホテル大宮

2017年
10月11日(水)
NO.3064

ロータリー：
変化をもたらす

お客様、会員の皆さま、こんにちは。

先週カズオ・イシグロさんがノーベル文学賞を受賞されました。現在国籍はイギリスということですが、日本出身者ということでは2014年の中村修二氏に続き、３人目の受賞ということになります。ノーベル賞は、ダイナマイトの発明で知られるスウエーデンのアルフレッド・ノーベルの遺言により、物理、化学、生物･医学、文学、平和そして経済で顕著な功績のある者に贈られる世界的な賞です。きっかけは、ノーベルの生前、フランスの新聞が彼の兄の死をノーベルの死と間違えて、「死の商人、死す」と報じられ、それを読んだノーベルが、自分が死後どのように評価されるかを考えたことだと言われています。

ここ数年ノーベル賞発表の時期になると村上春樹氏が話題になりますが、日本のノーベル賞の歴史を見ると、現代であれば受賞できていたに違いない偉大な研究者が多くいます。本日は学生時代に雑誌で読んだ20世紀前半生理学・医学賞の有力候補になった3人を紹介したいと思います。

１人目は、明治中期の日本の医学界に突如として現れた巨星北里柴三郎です。彼の力によって日本の医学界は勇躍世界のトップに引き上げられました。1901年の第一回のノーベル生理学・医学賞はベルリン大学のコッホの研究室で北里と共同研究していたドイツのベーリングが受賞しましたが、受賞対象の内容の殆どは北里の主導のものといわれています。北里は当時東京帝国大学医学部が支配する日本の医学界（ドイツ医学への追従と独創性の極端な排除）で、その象徴である青山胤道と激しく対立し、これがその後の北里が福沢諭吉への恩返しとして尽力した慶應大学医学部と東大医学部との確執につながっていきます。

北里は1880年破傷風菌の純粋培養、1894年ペスト菌の発見、また彼の伝染病研究所からは1897年志賀潔による赤痢菌の発見、1910年秦佐八郎による梅毒治療薬サルバルサンの発見等世界的業績が次々と生み出されます。それに対し、当時医学界を支配する東大医科では全くと言ってよいほど特筆すべきものがありませんでした。

２人目にご紹介する山極勝三郎は、その当時の東大医学部の中で、大きな業績を上げノーベル賞候補になった唯一の研究者です。彼は発ガンの原因を刺激説に基づくものとし、助手の市川厚一と何年にもわたりウサギの耳にコールタールを塗るという単純作業を続け、ついに人工ガンの発生に成功します。しかし1926年のノーベル生理学・医学賞は、寄生虫発がん説のデンマークのフィビガーに贈られました。一説には審査の過程で、「東洋人にはまだ早い」という発言もあったという話もありました。しかし両者の死後、フィビガーの寄生虫説は誤りであることがわかる一方、山極の業績はさらに輝きを増し、40年後東京で行われた国際癌学会では当時ノーベル賞の審査にあたった医学者ヘンシェンはその講演の中で、「私は山極博士を強力に推薦したが、不幸にして力不足でした。日本国民の皆様に申し訳ない。」と話されています。

３人目は、１人目の北里柴三郎の伝染病研究所、２人目の山極勝三郎が所属する青山胤道の東大医学部が激しく対立するこの当時その争いにも加われず、日本で活躍の場が与えられずアメリカ・ロックフェラー研究所で厳しい成果主義のもと超人的な実験技術で、数々の新発見で世界の医学界を驚愕させた皆様ご存知の野口英世です。彼は３度ノーベル賞候補になりましたが、第一次世界大戦などで受賞者がないなどの不幸もあり、彼がノーベル賞を受賞することはありませんでした。彼はコッホに始まる細菌学の頂点に立った一人でしたが、その細菌学的手法自体が、野口の死後、世界的潮流となったウイルス学により彼の業績が次々に否定される原因でもありました。

野口英世は会員の多くの方が、子供の頃、偉人の話としてその波乱に満ちた人生をお読みになったことと思います。日本の医学界から締め出されたと感じた彼は、自分の新発見が日本の新聞に載ることこそ、自分と日本をつなぐ道だと考え研究に没頭し、祖国日本を思い続け、終生アメリカの市民権を取ろうとすることはありませんでした。最後に、今年齢、体力が衰えてきて自分の研究がつらくなった時に思い出す彼の言葉を紹介します。

「努力だ、勉強だ、それが天才だ。誰よりも３倍、４倍、５倍勉強する者　それが天才だ。」

ちなみにノーベル賞の賞金は日本の所得税法上非課税となっています。ただし、経済学賞は資金提供団体が異なるため課税されてしまいます。私が取るとしたら経済学賞なので、早めに税制改正で非課税にしてもらいたいと思います。

本日は次週のガバナー公式訪問の予行練習として、柴田ガバナー補佐にお越し頂きご指導を頂きます。

最後までお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

2017-2018年度 大宮ロータリークラブ会長
江本 尚浩

今年度のテーマ
「Let's Begin!」

ガバナー公式訪問リハーサル

第37回ローターアクト例会

大宮ローターアクト集合写真

大宮ロータリークラブ

［創立］昭和30年12月2日 ［事務局］〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-95岩井ビル2-2階
［TEL］048-645-0130［FAX］048-647-1714［E-mail］o-rotary@bz01.plala.or.jp
［HP］https://omiya-rc.jp

2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー
ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 第2770地区ガバナー 大貫　等
新たな行動　新たな感動

左から…大瀧副会長／柴田　覚様／中川ガバナーエレクト／江本会長／齋藤会員／櫻井副会長

点鐘

一週間ぶりの再会の握手

MC［竹内会員］

お客様紹介［櫻井会員］

第３Ｇガバナー補佐　柴田　覚様

幹事報告［齋藤会員］

委員会報告［遠藤会員］

委員会報告［長谷川会員］

委員会報告［荒井会員］

委員会報告［善行地会員］

出席率の報告［石井会員］

ニコニコボックスの報告［山本会員］

◆ニコニコボックスのご報告◆

来週の公式訪問宜しくお願いします。
〈第３Ｇガバナー補佐　柴田　覚様〉

柴田第3グループガバナー補佐。ようこそ、本日はよろしくお願い致します。
〈大瀧榮壽〉

柴田ガバナー補佐ようこそ。よろしく御指導お願いします。
〈中川高志〉

柴田覚ガバナー補佐。本日はよろしくお願い致します。
〈櫻井義久・飯野耕司・星野晃一郎・石井宣子・小林義久・長谷川剛〉

柴田ガバナー補佐ようこそ。
〈齋藤守毅・小川和信・遠藤省吾・本多　隆〉

柴田ガバナー補佐、ようこそ大宮ロータリーへ。本日はよろしくお願いします。
〈浅野　仁〉

よろしくお願いします。
〈兼杉涼二〉

第３Ｇガバナー補佐柴田覚さんようこそ。
〈岸　聡〉

今日のリハーサルをよろしくお願いします。
〈川島利雄〉

柴田ガバナー補佐、本日はご指導ありがとうございました。
〈岩﨑　彰〉

柴田ガバナー補佐よろしくお願いします。
〈山本和保・進藤博司〉

柴田ガバナー補佐、ご指導のほどよろしくお願いいたします。
〈小坂良二〉

お客様ようこそ大宮ロータリーへありがとうございます。
〈小林憲樹〉

柴田ガバナー補佐ようこそ。本日はよろしくお願いします。
〈鈴木俊一〉

お客様ようこそ。
〈森　正志〉

司会頑張ります。
〈竹内裕司〉

竹内さん、本日は司会ありがとうございます。
〈江本尚浩・櫻井義久・齋藤守毅・蓮池慎二・高山利弘・栗岡宏治・岩田尚明・内藤考三・大河原繁泰〉

竹内さん司会ご苦労様です。
〈遠藤省吾〉

埼玉３５酒蔵大試飲会小川さん、福島さん、星野さん、来場ありがとうございました。楽しみましたか？
〈大瀧榮壽〉

大瀧さん、昨日は日本酒飲み放題ありがとうございました。
〈福島謙二〉

先日は自己紹介をお聞きいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
〈矢崎直良〉

誕生日のお祝いをいただきましてありがとうございました。
〈田中康之〉

結婚記念日のお祝いをいただきまして、ありがとうございました。
〈田中康之〉

北海道に行ってカゼひいてきました。
〈関口　茂〉

星野さん、先日はカサ有難うございました。
〈祝原英隆〉

来年6/22（金）トロントのガバナーナイト参加宜しくお願いします。
〈遠藤省吾〉

22日の石巻野球交流大会、みな様の御参加をお待ちしております。
〈戸井田修〉

来週のガバナー公式訪問楽しみにしております。
〈平子敬三〉

会員の皆様、来週のガバナー公式訪問100%出席でお迎えしましょう。
〈江本尚浩〉

ガバナー公式訪問リハーサルです。よろしくお願いします。
〈齋藤守毅〉

柴田ガバナー補佐、本日はご指導よろしくお願い致します。
〈江本尚浩〉

10月11日の合計金額 53,000円
（10月11日までの累計金額941,000円）

ご協力ありがとうございました。

当　日	例　会	会員数（出席者算定者数）	出席者数（出席率）
10月11日	第3064例会	74名（71名）	48名（67.61%）
前々回	例　会	メークアップ	修正出席率
9月27日	第3062例会	10名	84.72%

次回例会案内

2017年10月25日（水）は、休会です。

2017年11月1日（水）12：30点鐘　パレスホテル大宮
理事会、セレモニー
新会員自己紹介：株式会社ライズ　代表取締役　堺 博 会員
有限会社ストックヤード　代表取締役　平子 敬三 会員